



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月29日

上場会社名 トランコム株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 9058 URL <https://www.trancom.co.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 恒川 穰  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 経営企画・管理部門担当 (氏名) 中澤 圭亮 TEL (052) 939-2011  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	73,345	5.7	2,983	18.4	2,978	19.4	2,001	33.4
2018年3月期第2四半期	69,411	7.4	2,520	2.4	2,494	5.1	1,500	△28.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,986百万円 (28.4%) 2018年3月期第2四半期 1,547百万円 (△10.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	205.89	205.36
2018年3月期第2四半期	154.49	154.06

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	49,402	32,437	65.3	3,298.98
2018年3月期	48,077	30,349	62.8	3,110.99

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 32,274百万円 2018年3月期 30,211百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	40.00	—	42.00	82.00
2019年3月期	—	44.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	44.00	88.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	149,350	5.4	6,500	9.3	6,450	9.2	4,340	19.8	443.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	10,324,150株	2018年3月期	10,324,150株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	541,025株	2018年3月期	612,982株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	9,721,417株	2018年3月期2Q	9,710,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 自己株式に関する情報

当社は、従業員株式所有制度に基づく「株式給付信託（J-E S O P）」及び取締役等に対する株式報酬制度として「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を四半期連結財務諸表において自己株式として計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益又は潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、及び1株当たり純資産を算定するための期末の普通株式及び普通株式の期中平均株式数について、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する当社株式を控除しております。なお、2018年9月30日現在において、「株式給付信託（J-E S O P）」及び「株式給付信託（B B T）」が所有する自己株式はそれぞれ32,800株及び19,410株であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

物流業界では、トラックドライバーの高齢化、慢性的な人手不足が深刻化しております。また、貨物の小口化に伴い配送効率が悪化するなど、事業環境は引続き厳しい状況が続いております。

一方で、ネット市場の拡大や単身世代の増加に伴い消費者のニーズがますます多種多様化し、物を運ぶ作業から新たな価値を提供するサービスへと変化してきております。

このような状況の中、当連結会計年度におきましては、更なる事業拡大に向け営業力の強化を事業方針として、お客様の真のニーズを的確に把握し、物流全体最適の視点での提案・実行を推進いたしました。また、先進的なICTの技術を事業に取り込み、各事業の高度化に向けた検証を進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高73,345百万円（前年同期比 5.7%増）、営業利益2,983百万円（同 18.4%増）、経常利益2,978百万円（同 19.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,001百万円（同 33.4%増）となりました。

当社グループでは、事業内容を3つのセグメント及びその他に区分しております。セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① ロジスティクスマネジメント事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	22,973	24,893	1,920	8.4
セグメント利益（営業利益）	1,240	1,334	93	7.5

売上高は、新規業務の稼働に加え、既存拠点の物量増加により、増収となりました。

営業利益は、新規業務の稼働に伴う初期費用の計上はありましたが、売上高の増加に伴う利益の増加に加え、前期稼働業務及び既存拠点での収益性の改善などにより、増益となりました。

#### ② 物流情報サービス事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	38,568	40,493	1,924	5.0
セグメント利益（営業利益）	1,477	1,530	52	3.6

荷動きが活発な中、西日本豪雨や酷暑の影響もあり、空車不足感がさらに強まったことで成約件数の確保に苦戦しましたが、災害の影響に加え、燃料単価の上昇、人手不足の常態化などを背景とした運賃単価の上昇により、増収増益となりました。

#### ③ インダストリアルサポート事業

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	4,165	3,767	△398	△9.6
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	39	△3	△43	—

売上高は、国内既存顧客の減産の影響に加え、一部の国内拠点及び海外拠点の業務終了などにより、減収となりました。

営業利益は、国内派遣部門における売上高の減少に伴う利益の減少により、減益となりました。

④ その他

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	対前年同四半期 増減額	対前年同四半期 増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	4,452	4,781	328	7.4
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△142	179	321	—

海外での物流業務が安定稼働したことで、安定化のためにかかった費用がなくなったことに加え、部品物流の幹線輸送の伸長により増収増益となりました。

(注) 上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の前連結会計年度末との比較情報は次のとおりであります。

イ. 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金が679百万円減少した一方、現金及び預金が1,557百万円増加したことなどにより、785百万円増加し34,148百万円となりました。

固定資産は、無形固定資産が減価償却等により177百万円減少した一方、有形固定資産が設備投資により88百万円、投資その他の資産が投資有価証券の取得などにより629百万円、それぞれ増加したことにより、540百万円増加し15,253百万円となりました。これらにより資産合計は、1,325百万円増加し49,402百万円となりました。

ロ. 負債

流動負債は、未払費用が113百万円増加した一方、買掛金が696百万円、未払金が105百万円、それぞれ減少したことなどにより、690百万円減少し14,479百万円となりました。

固定負債は、72百万円減少し2,485百万円となりました。これらにより負債合計は、763百万円減少し16,964百万円となりました。

ハ. 純資産

純資産は、利益剰余金が1,591百万円増加したことなどにより、2,088百万円増加し32,437百万円となり、自己資本比率は65.3%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「現金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,557百万円増加し11,815百万円となりました。

イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,978百万円、減価償却費833百万円及び売上債権の減少額663百万円等の資金の増加、仕入債務の減少額679百万円及び法人税等の支払額882百万円等の資金の減少により、2,846百万円の収入（前年同四半期は1,248百万円の収入）となりました。

ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出524百万円、無形固定資産の取得による支出180百万円、投資有価証券の取得による支出500百万円等の資金の減少などにより、1,244百万円の支出（前年同四半期は616百万円の支出）となりました。

ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の処分による収入515百万円等の資金の増加、配当金の支払額410百万円、リース債務返済による支出117百万円等の資金の減少により、18百万円の支出（前年同四半期は502百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の連結業績予想につきましては、売上高、営業利益及び経常利益、並びに親会社株主に帰属する当期純利益の数値を修正しております。この修正に伴う各セグメントの業績予想は次のとおりであります。

トランコムグループの連結業績予想

(単位：百万円)

	2018年3月期	2019年3月期	対前期増減額	対前期増減率
売上高	141,728	149,350	7,621	5.4
営業利益	5,944	6,500	555	9.3
経常利益	5,909	6,450	540	9.2
親会社株主に帰属する当期純利益	3,622	4,340	717	19.8

事業セグメント別の業績予想

(単位：百万円)

		2018年3月期	2019年3月期	対前期増減額	対前期増減率
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	47,162	50,220	3,057	6.5
	営業利益	2,865	2,990	124	4.3
物流情報サービス 事業	売上高	78,036	82,680	4,643	6.0
	営業利益	3,108	3,270	161	5.2
インダストリアル サポート事業	売上高	8,221	7,920	△301	△3.7
	営業利益	83	80	△3	△3.9
その他	売上高	9,872	9,810	△62	△0.6
	営業利益	89	290	200	224.6
連結消去	売上高	△1,563	△1,280	283	—
	営業利益	△201	△130	71	—
連結合計	売上高	141,728	149,350	7,621	5.4
	営業利益	5,944	6,500	555	9.3

(注)上記の数値は、セグメント間取引の消去はしていません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,258	11,815
受取手形及び売掛金	22,235	21,555
商品	13	14
仕掛品	17	1
貯蔵品	18	21
前払費用	544	568
その他	275	172
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	33,363	34,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,676	7,772
減価償却累計額	△4,193	△4,320
建物及び構築物 (純額)	3,483	3,452
機械装置及び運搬具	4,654	4,924
減価償却累計額	△3,517	△3,716
機械装置及び運搬具 (純額)	1,136	1,207
土地	2,701	2,701
リース資産	2,280	2,301
減価償却累計額	△1,241	△1,333
リース資産 (純額)	1,039	968
建設仮勘定	12	125
その他	1,014	1,066
減価償却累計額	△698	△746
その他 (純額)	316	320
有形固定資産合計	8,688	8,776
無形固定資産		
のれん	482	436
ソフトウェア	1,658	1,521
ソフトウェア仮勘定	17	76
顧客関連資産	556	504
その他	169	168
無形固定資産合計	2,885	2,707
投資その他の資産		
投資有価証券	1,301	1,864
繰延税金資産	522	558
差入保証金	1,184	1,205
その他	153	162
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	3,139	3,769
固定資産合計	14,713	15,253
資産合計	48,077	49,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,326	9,629
リース債務	232	236
未払金	528	423
未払費用	1,587	1,701
未払法人税等	932	979
未払消費税等	469	429
賞与引当金	560	597
役員賞与引当金	26	14
その他	506	467
流動負債合計	15,170	14,479
固定負債		
リース債務	1,153	1,074
繰延税金負債	139	126
再評価に係る繰延税金負債	11	11
株式給付引当金	169	188
役員株式給付引当金	148	165
退職給付に係る負債	106	95
資産除去債務	452	459
その他	376	364
固定負債合計	2,557	2,485
負債合計	17,727	16,964
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080	1,080
資本剰余金	1,220	1,623
利益剰余金	28,765	30,357
自己株式	△1,053	△934
株主資本合計	30,012	32,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	188	226
土地再評価差額金	26	26
為替換算調整勘定	△24	△110
退職給付に係る調整累計額	8	5
その他の包括利益累計額合計	198	147
新株予約権	111	104
非支配株主持分	26	58
純資産合計	30,349	32,437
負債純資産合計	48,077	49,402



(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	69,411	73,345
売上原価	65,617	69,092
売上総利益	3,794	4,252
販売費及び一般管理費	1,274	1,269
営業利益	2,520	2,983
営業外収益		
受取利息及び配当金	10	11
持分法による投資利益	-	7
為替差益	5	16
その他	26	31
営業外収益合計	41	66
営業外費用		
支払利息	57	52
持分法による投資損失	4	-
固定資産除却損	-	18
その他	5	0
営業外費用合計	66	71
経常利益	2,494	2,978
特別利益		
固定資産売却益	6	-
特別利益合計	6	-
特別損失		
固定資産廃棄損	41	-
支払補償費	70	-
その他	1	-
特別損失合計	113	-
税金等調整前四半期純利益	2,387	2,978
法人税、住民税及び事業税	1,000	1,001
法人税等調整額	△107	△59
法人税等合計	893	941
四半期純利益	1,494	2,036
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,500	2,001
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	35
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	38
為替換算調整勘定	△35	△85
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	52	△50
四半期包括利益	1,547	1,986
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,555	1,950
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	35

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,387	2,978
減価償却費	783	833
のれん償却額	91	29
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50	37
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△12
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	18	18
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	56	16
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	△15
受取利息及び受取配当金	△10	△11
持分法による投資損益 (△は益)	4	△7
支払利息	57	52
固定資産除却損	—	18
固定資産廃棄損	41	—
支払補償費	70	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△729	663
仕入債務の増減額 (△は減少)	△598	△679
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△169	△39
その他	276	△113
小計	2,321	3,770
利息及び配当金の受取額	10	11
利息の支払額	△57	△52
支払補償費の支払額	△70	—
法人税等の支払額	△955	△882
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,248	2,846
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△378	△524
有形固定資産の売却による収入	12	5
無形固定資産の取得による支出	△230	△180
投資有価証券の取得による支出	△0	△500
その他	△19	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	△616	△1,244
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△5
自己株式の取得による支出	△56	△0
自己株式の処分による収入	62	515
配当金の支払額	△380	△410
リース債務の返済による支出	△127	△117
財務活動によるキャッシュ・フロー	△502	△18
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	△26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	141	1,557
現金及び現金同等物の期首残高	8,249	10,258
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,390	11,815

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	22,972	38,532	3,943	65,447	3,964	69,411	—	69,411
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	36	222	259	488	748	△748	—
計	22,973	38,568	4,165	65,707	4,452	70,160	△748	69,411
セグメント利益 又は損失(△)	1,240	1,477	39	2,758	△142	2,616	△96	2,520

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△96百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、のれんの償却額△91百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益及 び包括利 益計算書 計上額 (注) 3
	ロジステ イクスマ ネジメン ト事業	物流情報 サービス 事業	インダス トリアル サポート 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,892	40,461	3,740	69,094	4,250	73,345	—	73,345
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1	31	26	59	530	590	△590	—
計	24,893	40,493	3,767	69,154	4,781	73,935	△590	73,345
セグメント利益 又は損失(△)	1,334	1,530	△3	2,861	179	3,040	△57	2,983

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、海外物流事業及び情報システム開発事業等により構成しております。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、のれんの償却額△29百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。